



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 ダイコク電機株式会社
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 栢森 秀行
 (氏名) 丹羽 時重

TEL 052-581-7111

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,497	11.1	2,032	994.0	2,121	891.2	1,254	—
24年3月期第1四半期	12,145	52.6	185	201.6	214	127.7	△48	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,257百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △46百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	84.85	—
24年3月期第1四半期	△3.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	51,028	27,891	54.5
24年3月期	49,087	27,113	55.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 27,825百万円 24年3月期 27,026百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		10.00	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,000	△11.0	1,500	△29.2	1,500	△27.4	800	△25.7	54.11
通期	55,000	16.8	4,000	13.5	4,000	12.9	2,300	38.3	155.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	14,783,900 株	24年3月期	14,783,900 株
25年3月期1Q	334 株	24年3月期	334 株
25年3月期1Q	14,783,566 株	24年3月期1Q	14,783,585 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関しては、添付資料3ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として、生産活動や個人消費は緩やかに回復しつつありますが、欧州の債務危機や電力供給の制約等、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、顧客であるパチンコホールでは、業績が堅調に推移しているパチスロ遊技機への投資が続いておりますが、パチンコ遊技機では、日本遊技機工業組合の新内規に対応してゲーム性の幅が広がったパチンコ遊技機が市場へ投入され始めました。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、ホールコンピュータ「CⅡ」との連動によるセキュリティ面等が強化された新製品CRユニット「VEGAS I A」の販売を開始いたしました。制御システム事業におきましては、「顧客への貢献」を目的とした企画開発体制の再編やエコをテーマとした研究開発への取組みを強化いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高134億97百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益20億32百万円（同994.0%増）、経常利益21億21百万円（同891.2%増）、四半期純利益12億54百万円（前年同期純損失48百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(情報システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、ホールコンピュータ「CⅡ」を中心に各周辺機器が連動する新機軸の機能を搭載したCRユニット「VEGAS I A」により、セキュリティ、効率的運用、稼働支援等の提案を推進し高く評価されました。また、多様なゲーム性をファンにわかりやすく伝える情報公開機器「BiGMO」や多彩なイルミネーションの呼出ランプ「IL-X」等も高く評価され、好調に推移いたしました。

この結果、売上高は92億6百万円（前年同期比64.5%増）、セグメント利益は23億23百万円（同184.8%増）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、グループ企業との業務範囲・役割の再構築を行い、ソフト、ハードの企画提案に努めました。

この結果、売上高は42億95百万円（前年同期比34.4%減）、セグメント利益は2億43百万円（前年同期セグメント損失99百万円）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現預金の減少及び減価償却による固定資産の減少がありました。前第4四半期連結会計期間に比べ当第1四半期連結会計期間において売上が好調に推移したことにより売上債権が増加したこと、当第2四半期以降販売予定の在庫が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ19億41百万円増加の510億28百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、借入金の返済による減少はありましたが、仕入債務の増加により、前連結会計年度末に比べ11億63百万円増加の231億37百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、営業成績が好調に推移したことによる利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ7億77百万円増加の278億91百万円となり、自己資本比率は54.5%（前連結会計年度末比0.6ポイント下落）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日発表の業績予想に変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成24年6月29日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、連結子会社であったDO株式会社は、株式譲渡により当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。また、持分法適用関連会社であった株式会社ラピスは、株式譲渡により当第1四半期連結会計期間より持分法適用関連会社から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,755,511	14,912,184
受取手形及び売掛金	8,347,971	10,340,171
商品及び製品	3,904,774	4,621,239
仕掛品	99,838	53,817
原材料及び貯蔵品	2,115,618	2,995,913
繰延税金資産	53,804	78,851
その他	695,269	1,089,444
貸倒引当金	△56,051	△74,155
流動資産合計	31,916,735	34,017,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,396,275	4,275,639
土地	4,294,795	4,294,795
その他（純額）	1,298,795	1,258,031
有形固定資産合計	9,989,865	9,828,465
無形固定資産		
ソフトウェア	1,673,108	1,537,588
その他	136,968	136,604
無形固定資産合計	1,810,076	1,674,193
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,221,250	2,329,225
投資不動産（純額）	879,029	916,122
長期預金	600,000	600,000
その他	1,956,213	1,944,452
貸倒引当金	△285,767	△281,169
投資その他の資産合計	5,370,725	5,508,630
固定資産合計	17,170,668	17,011,289
資産合計	49,087,404	51,028,756

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,360,901	14,585,977
短期借入金	5,825,000	2,800,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	358,300
未払法人税等	837,190	1,026,109
役員賞与引当金	112,857	102,975
その他	2,370,177	2,230,384
流動負債合計	19,906,126	21,103,746
固定負債		
長期借入金	1,300,000	1,241,700
退職給付引当金	180,814	196,244
役員退職慰労引当金	338,679	347,039
その他	248,053	248,838
固定負債合計	2,067,548	2,033,822
負債合計	21,973,674	23,137,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	25,667,938	26,468,103
自己株式	△642	△642
株主資本合計	27,021,304	27,821,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,943	4,483
その他の包括利益累計額合計	4,943	4,483
少数株主持分	87,481	65,234
純資産合計	27,113,729	27,891,187
負債純資産合計	49,087,404	51,028,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	12,145,577	13,497,354
売上原価	8,416,203	8,860,020
売上総利益	3,729,374	4,637,334
延払販売未実現利益戻入	462	4,251
延払販売未実現利益控除	—	—
差引売上総利益	3,729,837	4,641,585
販売費及び一般管理費	3,544,018	2,608,789
営業利益	185,818	2,032,795
営業外収益		
受取利息	2,119	1,990
受取配当金	5,458	6,034
受取分配金	—	24,848
その他	50,412	78,432
営業外収益合計	57,990	111,305
営業外費用		
支払利息	12,500	9,588
修繕費	1,113	5,323
持分法による投資損失	7,836	—
その他	8,287	7,271
営業外費用合計	29,737	22,183
経常利益	214,072	2,121,917
特別利益		
関係会社株式売却益	—	6,753
特別利益合計	—	6,753
特別損失		
固定資産売却損	4,266	—
固定資産除却損	63,660	792
会員権売却損	—	1,819
特別損失合計	67,927	2,612
税金等調整前四半期純利益	146,145	2,126,058
法人税、住民税及び事業税	126,988	1,004,461
法人税等調整額	65,032	△136,068
法人税等合計	192,020	868,392
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△45,875	1,257,666
少数株主利益	2,592	3,313
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48,467	1,254,352

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△45,875	1,257,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△237	△460
その他の包括利益合計	△237	△460
四半期包括利益	△46,112	1,257,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,704	1,253,892
少数株主に係る四半期包括利益	2,592	3,313

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,595,318	6,550,258	12,145,577	—	12,145,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	161	47	209	△209	—
計	5,595,480	6,550,306	12,145,786	△209	12,145,577
セグメント利益又は セグメント損失(△)	815,871	△99,804	716,066	△530,247	185,818

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△530,247千円には、セグメント間取引消去871千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△531,118千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,202,407	4,294,946	13,497,354	—	13,497,354
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,732	612	4,344	△4,344	—
計	9,206,139	4,295,558	13,501,698	△4,344	13,497,354
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,323,728	243,576	2,567,304	△534,509	2,032,795

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△534,509千円には、セグメント間取引消去△4,014千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△530,494千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「情報システム事業」、「制御システム事業」及び「アミューズメントコンテンツ事業」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より、「情報システム事業」及び「制御システム事業」の2事業に変更しております。

この組織変更は、遊技機開発においてゲーム要素を更に強化することを目的としたものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。